

庭園療法講座

当院でアートインホスピタルを展開していただいているアナグリウス
ケイ子先生による庭園療法講座が始まりました。

昨年「ガーデンセラピー」について講演いただいた庭園療法法の第一人者スウェーデンのイボンヌ先生も、認知症病棟での体験として、土に触ることで、表情が穏やかになった老人や、普段話さないのに急に昔話を始めた婦人などを例に出し、自然が人に与える影響の大きさをお話してくださいました。当院でも病棟やOTプログラムとして活用できればと、まずは職員がその概念を学ぶことといたしました。全12回、各回、理論と実践からなるトータル2時間の講座です。

1回目はアートがもたらす環境づくりの理解と、色彩の実習。絵具で好きな色を3色作って、模造紙に直線、波、点など指示通りに3色の中で色を選んでペインティング。参加者それぞれ、同じ直線でも向きや太さが違うので、同じ指示でも全く違う作品に仕上がります。次に、大きく描いた模造紙から好きな絵柄の場所だけ切り取っていきます。最初から小さな紙でデザインすると、枠にとられて思うように描けなくても、大きく描いた中から好きな部分だけ切り取ると気に入ったものを得ることが出来ます。最後には、嗅覚や味覚といった感覚を研ぎ澄ますことも大切と、描いた作品をトレーにして、チョコやゼリーを飾って完成。気持ちの穏やかになる2時間でした。



基本方針

人 権を重んじ、患者さんやご家族の「心のふるさと」になれるよう、患者さんの立場に立ったやさしい医療をおこないます。

最 新の医療知識と技術を身につけ、予防から急性期治療・リハビリテーション・在宅支援まで継続的な質の高い医療を提供します。

光 と風と緑」にあふれた、安全で快適な療養環境を提供します。

地 域の拠点病院として、行政機関や病医院・地域の方々と連携し、保健・医療・福祉に貢献します。

信 頼される医療サービスを提供するために、経営の健全化につとめ、すぐれた医療従事者を育てます。

2008.4.1 改定

院内

花

院内の花が咲きはじめる季節です。
美しい花の季節をお楽しみください。

だ
よ
り



光風緑

梅

薔薇(ばら)科。

開花時期は、1/20頃～4/5頃。1月中旬頃から咲き出すもの、3月中旬頃から咲き出すものなど、さまざま。また、桜とちがって、咲き方も散り方もゆっく。

木の花がほとんど咲いていない冬に、「ついに梅が咲き出したか」という、うれしさのインパクトは大きい。

いろいろな園芸種がある。

とてもよい香りの5弁花。

現在、あんずの郷周辺にぼつりぼつりと咲き始めています。

外来診察表 新年度には変更が生じますのでお含みください。
外来診察時間 / 9:00 ~ 12:00(受付は11:30まで)

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
1 診	黒田	柏木	中井	横田	黒田	横田
2 診	松島	野村	松島	野村	横井	横井
3 診	西側	和田貴	植田	澤田	西側	植田
4 診	西村	山田	西村	河野い	相馬	和田大
5 診	佐野	影山	川村	宮里	秋田	
6 診	呉家	清水健	吉田綾	吉田綾	清水健	呉谷
7 診	村上雄	村上雄	小深田	和田大		小深田
8 診	熊取谷	河野隆	作田	三秋	作田	熊取谷
9 診	宋	植月	荒川	清水喜	宋	植月

ご紹介いただく際は予めご連絡をお願いいたします
専門外来(睡眠・小児・往診・女性・口腔)は予約制です
医療機関からの入院・転院のご相談は地域医療連携室で承ります。
受診の前に下記へお電話ください。
電話072-278-0381 072-281-6615



診療科目

精神科 心療内科 内科 歯科

病床数

EPU 精神科救急 病棟 120床(H2,H3病棟)
精神科急性期治療病棟 48床(C1病棟)
亜急性期病棟 120床(B2,C2病棟)
メンタルケア病棟 54床(E3病棟)
リハビリ病棟 60床(E2病棟)
老年性精神疾患・認知症病棟 118床(D2,D3病棟)
MPU 精神科合併症治療 病棟 50床(H1病棟)
精神療養病棟 60床(F2病棟)
認知症治療病棟 60床(F3病棟) 計690床

看護体制

精神科病棟 15:1 急性期病棟 13:1 スーパー救急 10:1
看護師比率70%以上・看護補助 30:1

関連施設紹介

認知症疾患医療センター
訪問看護ステーションふれあい
居宅介護支援事業所
ヘルパーステーションはんず
ケアホーム/こもれび・青空・そよかぜ
堺市中区八田南之町277 阪南病院内 電話072-278-0381
ケアホームあんずの郷
堺市中区八田北町309 電話072-278-2233
地域生活支援センターゆい
堺市中区深井東町3134 電話072-277-9555

院内は敷地内完全禁煙です!

児童精神科医療のあるべき姿と現状について

1月28日(金)静岡県立こども病院「こどもと家族のこころの診療センター」所長山崎透先生をお招きしました。山崎先生は当院でも児童精神科病棟を立ち上げるにあたり様々ご指導いただいています。今回は診療・看護・リハビリからの質問にお応えいただく形でお話いただきました。

各機関へのアウトリーチや関わりについては、行政・医療機関・教育機関へお知らせを配布し周知することが必要。また、児童相談所スタッフとの連携は重要で、時には病院側がリーダーシップを発揮して共に対応するという形が望ましい。

当直帯での対応については、こども病院では、基本当直医が対応し、どうしても困ったら主治医に連絡、対応している。など、48の質問に丁寧にお応えいただきました。また、大人の精神科は病状に沿った病棟があるのに、児童は一括りというもおかしなことです。各機能をもった病棟間の連携が重要です。と大変示唆に富むご教示をいただきました。



デイケアでの禁煙講習会

2月24日(木)デイケアのメンバーさん向けに禁煙指導の講習会が行われました。講師の園はじめ先生は、当院の禁煙推進を強力にバックアップいただいている先生です。園はじめクリニックでの禁煙治療は大変有名で、社会的にも禁煙治療のエキスパートとして活躍されています。

当院には、職員禁煙宣言をした一昨年からご指導をいただいています。講演も、スライドを使いわかりやすく、合せて、喫煙者の指、内臓、世界の禁煙コマーシャルなど「タバコ吸ってたらあかん!」と思わせるリアルな映像もあり説得力があります。

参加されたメンバーさんの中にも、「禁煙する」と宣言された方がおられたようで、禁煙推進へまた一歩、阪南病院は前進してまいります。



桃の節句メニュー

今回の行事はひな祭り。メニューは三層に重ねた色鮮やかな「ひしもち風押し寿司」「魚のすり身と枝豆しんじょうの炊合わせ」にデザートとかき玉汁が付きます。春を感じさせる色鮮やかな取り合わせに、お腹も心もいっぱいになりました。

食べる、嘔むということは生活をする上で重要です。病気療養中ならなおさらです。だからこそ、患者さんの食をしっかりと支える取り組みを続けていきたいと考えています。



児童精神科勉強会

2月より、医局医師による児童精神科の勉強会が行われています。週に1回計5回の勉強会が開催されています。講師は児童精神科を担当する医師が分担して、こどもの病気について講義します。

毎回5時からの開催で、コメディカルを対象としていますが、「こどもの発達」「広汎性発達障害」「ADHD」「摂食障害」「こどもの強迫」と興味深い内容であるため、毎回院内各部署より70名以上が参加しています。4月からの児童精神科病棟稼働に向け、準備が進んでいます。



病院基盤整備

今後の病棟構成

当院では、昨年の新棟オープンに続き、病院全体の再整備を行っています。次代の精神科医療に求められる機能を保持し、地域や、病医院の先生方の要請に即応できる体制を構築したいと考えております。そのため、病棟の機能変更や、工事が続きます。現在予定している今後の動きについて、お知らせし、スムーズな病院運営を目指します。ご理解の程何卒宜しくお願い申し上げます。

認知症治療病棟60床 2月稼働 児童精神科病棟 4月稼働。25床でスタート後32床
メンタルケア病棟(全個室) 6月稼働。4月から31床で稼働。病棟工事後35床
準メンタルケア病棟60床 4月稼働予定(工事等の都合にて遅らせることがあります)

月	4月	5月	6月
児童精神科病棟 D1病棟	1日 25床で稼働		1日 32床で稼働
メンタルケア病棟(全個室) E3病棟	1日 31床に減少 17日 E1病棟へ引越し 個室6床、計31床 改造工事		1日 35床で稼働
準メンタルケア病棟 E2病棟60床	1日 稼働予定。後に精神科急性期治療病棟(56床)へ移行		

メンタルケア病棟(E3)の個室化工事に伴う病棟移動を4月中旬に予定しております。移動先E1病棟では、個室を6床しつらえる予定にしておりますが、この間、個室希望の患者さまにお待ちいただくことも予想されます。

移転後2ヶ月間の室料は¥3,000(税抜)と¥2,500(税抜)で運用させていただきます。

児童精神科病棟(D1)は、基本、児童精神科外来の患者さまで入院を必要とする方を対象とし、運営いたします。ご紹介の際は必ず、地域医療連携室へご相談くださいますようお願いいたします。

準メンタルケア病棟(60)は全て多床室となり、個室はございません。

春暖の候、ますますご清祥の事とお喜び申し上げます。

地域においてご活躍の諸先生方には平素より地域医療連携業務にご理解ご協力を賜りありがとうございます。

私ども阪南病院に地域医療連携室を開設いたしました6年が経過いたします。精神科医療への多種多様なニーズが高まる中、速やかな地域連携を目指して参りました。しかし、不備な対応により、先生方には一方ならぬご迷惑をおかけしている事と思われまします。お礼も平成23年度は当院55周年という大きな節目を迎えます。これを期に諸先生方の信頼に応えるべく、一層の努力をしていく所存です。

また、そのような中であって当誌前号、初春のごあいさつの中でもお伝えしておきます通り、昨年の認知症疾患医療センターの開設、新棟の稼働に引き続き、児童精神科病棟開設(4月予定)、メンタルケア病棟の全室個室化(6月予定)等をひかえ、病床リニューアル工事が続いております。このため先生方のご依頼に対する即応力が不十分であったものと考えます。この度の病床リニューアルを進めていくことにより、諸先生方からのご依頼にきめ細かな対応を推し進めていくことが出来るものと考えております。

今後ともご指導いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

地域医療連携室課長 山本 祐治